

大地震が起きると私たちの小正地区はどうなるの？

この地域では南海トラフ地震が起きると予測されており、稲沢市では震度6弱～7が予測されています。その地震の被害は液状化や火災等により約8,500棟の全壊・焼失、約300人の死者数が予測されています。少しでも被害を少なくするため、様々な対策を実施する必要があります。災害も色々ありますが、発生確率が高く、危険度・被害が大きい地震、それに伴う液状化の写真を掲載するので「もし地震が起きたら・・・」と考えながらご覧ください。

阪神淡路大震災（写真提供：神戸市）
（平成7（1995）年1月17日発生）



倒壊した建物の多くが旧基準（昭和56年5月以前）の建築でした。



大きなタンスも倒れ、家具が散乱しています。
転倒防止対策をしていれば防げた可能性があります。

新潟地震

(昭和 39(1964)年 6 月 16 日発生)



液状化により線路や道路・水道等のライフラインが破壊され、様々な不都合が考えられます。

東日本大震災 (平成 23(2011)年 3 月 11 日)

液状化被害状況 (千葉県浦安市)



液状化により貯水タンクが浮き出し、建物と道路の間に段差ができています。(写真:「浦安震災アーカイブ」より)

地震が起きるとこのように様々な被害が予想されます。

少しでも被害を小さくできるように、対策について考えていきましょう。

発行：小正市民センター地区 まちづくり推進協議会(減災事業実行委員会)

問合せ先：小正市民センター TEL0587-21-8000

FAX0587-32-2004